



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 6月号



【野に咲く花のように】

山下清さんをモデルにしたテレビドラマ「裸の大将放浪記」の主題歌のタイトルです。優しいメロディーや柔らかいハーモニーとともに、その歌詞が大好きでよく口ずさんでいました。昭和の歌だと思っていたら、最近小学校の教科書に載っているようですね。

少し前のこと、学校の農場を歩いていると濃い紫の花が目に入りました。数年前から道端などで見かけることが増え、カラスノエンドウにしては草丈が大きく、花の色やつくりが違って、この花は何だろうと気になっていました。ググって見たところ、ナヨクサフジという外来種のように、「ヨーロッパ原産で、飼料や緑肥用に輸入したものが野生化した」とありました。繁殖力が強く「すき込むと肥料になる」「水田や休耕地などで雑草の繁殖を抑える」ために使われている反面、在来種を駆逐する恐れから環境省の「生態系被害防止外来種リスト」に掲載されているそうです。一面紫の絨毯のようにになっている地域もあるようで、「花の美しさと捨てがたい有用性から何が何でも排除しろとも言えず悩ましい」という記載もありました。

さて、ひるがえって冒頭の歌の歌詞から一部を抜粋して紹介します。

野に咲く花のように 風に吹かれて 人を爽やかにして

そんな風に僕たちも生きていけたら すばらしい

時には暗い人生も トンネル抜ければ夏の海

野に咲く花のように 雨にうたれて 人を和やかにして

そんな風に僕たちも生きていけたら すばらしい

時にはつらい人生も 雨のちくもりでまた晴れる

私たちが一人一人がいろいろな野の花かもしれません。外見はもちろん、育った土地や環境、性格も個性も様々。自分にとって苦手なところが他からはうらやましく思われる良さだったり、得意なことが気をつけるべき部分であったりすることもあるかもしれません。でも、人が野の花と違うのは互いの個性を尊重し、良さを認め合って共に成長していけるところでしょう。多様性を認め、一人一人を大切に育てていく学校でありたいです。

例年よりずいぶん早く梅雨に入りました。小中学部の運動会が心配なお天気が続きます。様々な行事に加え、被災後初めてのプール学習も始まります。体調をととのえ、有意義な学習にしていきましょう。

(校長 梶谷 淳子)



高等部で現場実習が始まります

高等部では、6月5日から現場実習が始まります。

1年生は「校内実習」です。校内ですが、普段の学校生活の流れとは異なり、なるべく職場のような環境設定（1日を通しての作業、昼食はお弁当）で行います。午前・午後続けて仕事することで、続けることの大変さや達成感を実感したり、自分の得意なことや苦手なことを知ったりすることができます。また、1時間の昼休憩で昼食以外の時間を職場に適した方法で過ごすことも学んでいきます。

2年生は初めての「一人での校外実習」です。それぞれが企業や事業所へ行き、仕事等を行います。通勤をすること、仕事をするために家庭で体調を整えること、実習先の人とやりとりをすること、求められた仕事をきちんと行うこと等、体験的に学んでいきます。また、実習後には振り返りの中で、自分に合った職業生活とはどんなものかを教師と一緒に考え、その実現に向けた課題に取り組んでいきます。

3年生は「卒業後に進みたい職場での校外実習」です。卒業後を想定した生活を体験し、実際の現場で求められる知識、技能や態度を意識し、実習に臨みます。

このように学年が進むごとに経験の幅を広げ、卒業後の生活を具体的に思い描き、必要な力を身に付けていくことができるようにしています。実習の様子は6月後半に進路だよりにてお伝えします。またご覧ください。

(進路指導主事 岡本友貴)

〈まきび通信をご覧の地域の皆様〉

このような形で実習を行っています。「こんな仕事できないかな?」「障害者雇用をしたい!」といった情報をおもちでしたら、ぜひ本校までお知らせください。